

## 教育情報化学習指導案

対象学年	小学生(4~6 学年)	所要時間	1 時間(45 分)
教科の 目標及び内容	<p>総合 — 情報に関する学習を行う際には、問題の解決や探究活動に取り組むことを通して、情報を収集・整理・発信したり、情報が日常生活や社会に与える影響を考えたりするなどの学習活動が行われるようにすること。</p> <p>社会(5年生)</p> <p>— 我が国の情報産業や情報化した社会の様子について、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることを考えるようにする。</p>		
題材名	安全なネットの使い方		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 調べ学習などにおいて、インターネット上には間違った情報や、古い情報があることを理解する。</li> <li>● インターネット以外に別の資料で確認したり、実際に足を運んで調べたりする大切さを知る。</li> </ul>		
情報モラルに 関する視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 法の理解と遵守: 情報社会でのルール・マナーを遵守できる 契約行為の意味を知り、勝手な判断で行わない。「はい」や「同意」のボタンは、むやみに押さない</li> <li>● 安全への知恵: 情報社会の危険から身を守るとともに、不適切情報に対応できる 予測される危険の内容がわかり、避ける</li> </ul>		

### 指導の流れ

※情報モラルに関する視点♥

所要時間	主な学習活動	指導・支援の流れやポイント	使用教材等	
1 校 時 目	10 分	導入 & 映像クリップの視聴 	→ 今日の授業の内容の確認。 → インターネットにはどんなページがあるだろう？ ・自分たちが今まで見たことのあるページや写真を発表。 ※経験のない子どもにも、インターネットにはどんなページがあるのかを考えさせる。 → 映像クリップの視聴	
	10 分	心当たりのないリンク先を開いたらどうなったか？ 	→ 目的のページではなく、どんなページにたどり着いたのか？ ・恐がらせるページ → インターネットには他にも気持ちの悪いページや大人向けのページ、ウィルス感染などの危険なページがあることを理解させる。♥	使用教材 広教 事例で学ぶ Net モラル A-10 安全なネットの使い方
	15 分	おかしなページが出てしまったらどうすればいいか？ 	→ おかしなページが表示されたらどうすればいいだろう？♥ ・変な写真はすぐに消す(ウィンドウを閉じる) ・気持ちの悪いページや大人向けのページはすぐに戻る。 ・リンクはなるべくクリックせず前のページに戻る。 ※子どもだけではなく、大人と一緒に使う。♥	
	15 分	まとめ 	→ インターネットを使う時はどうすればいいのだろう？♥ → まとめの映像クリップの視聴♥ ・コンピュータは大人がいるところで使う。 ・インターネットを見るときは大人と一緒に使う。 ・おかしなページや写真が表示されたらすぐに消すか、戻る	